

ハウステンボスグループ 2020年9月期の業績について

ハウステンボス株式会社（本社：長崎県佐世保市）とグループ会社の2020年9月期の連結業績は以下の通りとなりました。

【 2020年9月期のグループ連結業績 】 (2019年10月1日 - 2020年9月30日)

単位：百万円

ハウステンボスグループ	前期	当期	前期差	前期比
	2018年10月～2019年9月	2019年10月～2020年9月		
取扱高	30,329	14,620	▲ 15,708	48.2%
売上原価	6,787	3,430	▲ 3,357	50.5%
売上総利益	23,542	11,190	▲ 12,351	47.5%
販売費および一般管理費	18,320	14,587	▲ 3,733	79.6%
営業利益	5,222	▲ 3,396	▲ 8,618	—
経常利益	5,605	▲ 2,412	▲ 8,017	—
税引前当期純利益	6,347	▲ 4,198	▲ 10,545	—
当期純利益	4,023	▲ 3,914	▲ 7,938	—

- * ハウステンボス株式会社、株式会社ラグーナテンボス、エイチ・テイ・ビー観光株式会社、株式会社 hapi-robot、HTB クルーズ株式会社の計5社
- * ハウステンボス・技術センターとその100%子会社である西日本エンジニアリング株式会社は、2018年12月に株式会社エイチ・アイ・エスへ株式売却したため、連結対象外となりました。
- * 当期の営業外費用には為替差損を160百万円、前期は478百万円の差損が計上されています。

【 2020年9月期のハウステンボス株式会社（単独）業績 】 (2019年10月1日 - 2020年9月30日)

- ・ 入場者数 1,386千人（前期比54.4%）
- ・ 内 海外客数 50千人（前期比30.7%）
- ・ 宿泊者数 143千人（前期比50.6%）

単位：百万円

ハウステンボス(単独)	前期	当期	前期差	前期比
	2018年10月～2019年9月	2019年10月～2020年9月		
取扱高	25,586	12,258	▲ 13,328	47.9%
売上原価	5,752	2,931	▲ 2,820	51.0%
売上総利益	19,834	9,326	▲ 10,507	47.0%
販売費および一般管理費	14,539	11,325	▲ 3,213	77.9%
営業利益	5,295	▲ 1,998	▲ 7,293	—
経常利益	5,359	▲ 1,289	▲ 6,649	—
税引前当期純利益	6,916	▲ 2,632	▲ 9,549	—
当期純利益	5,610	▲ 2,438	▲ 8,048	—

- * 当期の営業外費用には為替評価損を160百万円、前期は479百万円の差損が計上されています。

【ハウステンボス株式会社(単独) 財産状況について】

単位：百万円

		2019.9末	2020.9末			2019.9末	2020.9末
	流動資産	25,601	18,865		流動負債	3,734	1,418
	固定資産	24,291	25,124		固定負債	1,383	1,355
資産合計		49,893	43,990	純資産		44,775	41,215
				負債・純資産合計		49,893	43,990

ハウステンボスは、以下の取り組みを行い、お客様満足度と場内体験価値の向上に努めるとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、お客様・スタッフ並びに地域の皆様の「安心」「安全」確保に努めました。

2019年10月より「パスポート革命」と題し、それまで別途料金となっておりました観覧車やジュラシックアイランド、カナルクルーザーなどの園内アトラクション利用料を、1 DAY パスポートでご利用いただけるようにいたしました。また、同時期に「ハウステンボイスキャンペーン」を実施し、テーマパーク運営にお客様のお声を反映する施策を行いました。それら施策の結果、総合満足度86%、リピート意向80%と昨年と比べて、いずれも上昇しております。※マクロミルベンチマーク調査2020より

イベントでは光の王国に「白銀の世界」が新登場いたしました。アムステルダム広場内にあるスタッドハウスを中心にその一帯を白色のLEDで統一し、国内に類を見ない白一色のイルミネーションが展開され、多くのメディアに取り上げられました。

新型コロナウイルス感染対策については、「遊園地・テーマパークにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等に沿った取り組みを講じたうえで、接触感染・飛沫感染を徹底して予防する事に努めました。また、当テーマパーク内でクラスターを発生させないという事にも注力し、外部講師による消毒に関する講習の受講やスタッフにも常に消毒用アルコールを携帯するなどの防疫対策を徹底した結果、お客様の園内感染およびスタッフの感染はありませんでした。

その中で、コロナ禍だからこそ出来る事をスタッフ全員で考え、お客様に満足いただける取り組みとして「ECサイトの品揃えの充実とサイトのリニューアル」や「ワイン祭などイベントと連動した商品展開」、「アムステルダム広場レイアウトの変更」などを実施した結果、イベントの売上前年比は入場者数の前年比を超える実績となりました。

このような取り組みにおいて好評を得た一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、延べ56日の休園することとなり、その結果、テーマパークの通期(2019.10~2020.9)の入場者数は、1,386千人(前年同期比54.4%、1,161千人減)となりました。それに伴い、取扱高は同47.9%の12,258百万円、営業利益は同▲1,998百万円となりました。経常利益は同▲1,289百万円、当期純利益は同▲2,438百万円となりました。

【ハウステンボス株式会社(単独) 2021年9月期通期業績見通しについて】

2021年9月期通期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染状況がどこまで影響を及ぼすか不明であるため、未定とさせていただきます。新型コロナウイルス感染予防対策を強化し、お客様に安心してご来場いただけるテーマパーク運営に努めてまいります。

《ニュースリリースについてのお問い合わせ先》
 ハウステンボス株式会社 経営企画室 須田・滝本・横田
 TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025
<http://www.huistenbosch.co.jp>